



ここを第2の故郷に…。
お客様のその言葉が
私たちの宝物です。

Interview

いやしのさと かみうち

癒しの郷「神うち」

神内 博美さん

豪華な別荘を思わせる本格的ログハウスで民宿を開業した神内さん。
その開業までのエピソードや宿泊客に好評の手作りメニュー、今後のプランなどについてお聞きしました。

現在、農林漁家民宿をどのような形で営業されていますか？

宿のスタイルは、ログハウスの1棟貸しです。ご家族連れやグループで、最大7名様までご利用いただけます。宿泊費は、宿泊客様1団体で1泊25,000円、食事代がおひとり3,000円（3歳未満は無料）です。

お食事は、家の畑で穫れる野菜をはじめ、海も近いので魚介類を使ったメニューを共同調理にて召し上がっていただきます。素材に関しては季節の美味しさや安全性を大切にしています。家内は、味噌やジャムなどを手作りで作っていて、それらを使った料理も好評ですね。特に焼肉のタレは、売って欲しいと頼まれることもあります。また、私は猟師もしていて、猟で仕留めたイノシシのバーベキューもご用意できます（費用別途）。

体験メニューも季節の野菜収穫やミカン狩り、自家製石窯でのピザ作り、クルージング、竹で水鉄砲や竹とんぼを作る竹細工教室など様々なものをご用意しています。ミカン狩りは時期ごとに樹の種類が変わりながら10月～2月末頃まで、自然を満喫しながら楽しめます。



手作りの味噌と焼肉のタレ。猪肉は滋味に滲れている

なぜ農林漁家民宿をはじめようと思ったのでしょうか？

宿に使用しているログハウスは、以前は息子家族が住んでいたんです。ただ孫の就学を契機に街中に引越したんです。それで「この家を遊ばせるのはもったいない」と、民宿活用を思いついたんです。

教育的な場所としては「何も無いのが不便な環境」でも、民宿としてなら「自然以外何も無いのが、魅力になる」と思ったんです。そこで、高松市役所に勤めている方に相談すると、農林漁家民宿のことや制度について教えてくれました。補助金や県の開業アドバイスも受けられるとのことでしたので、本気になって準備を進め、2020年2月には営業許可をいただきました。

けれど当時はコロナ禍の厳しい状況もあり開店休業状態が続きました。それが好転しだした今年の夏、気を引き締め直して本格的な稼働を始まりました。



「自然以外何も無い」それが魅力になると神内さん

開業するための経費について教えてください

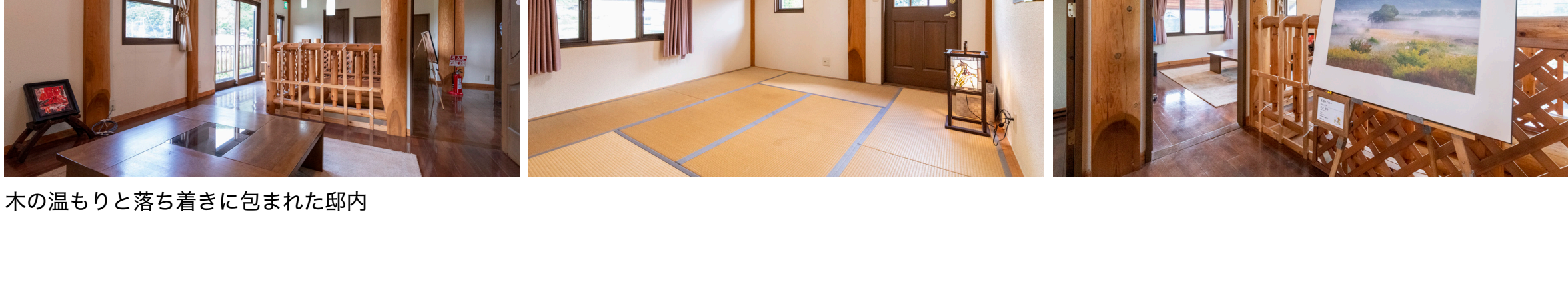
実はほとんど経費をかけていません（笑）。開業に当たって新たに買い揃えたものといえば、各部屋のカーテンや宿の消火器、火災報知器などに30万円程度でしょうか。そのうちの半分は補助金として戻ってきましたので、使った金額は15万円ほどでしょうか。

旅館業法等の開業手続きは、ご面倒ではなかったですか？

申請書類の内容を最初に見た時は、大丈夫かなと思いました。けれど香川県農村整備課の方のひとかたならないサポートのおかげで、私たちが大きな苦労を感じることはなかったですね。サポートがなければ、開業までもっと遠回りしていたかも知れないです。

農林漁家民宿を開業して良かったことは何ですか？

友人がその友だちを連れてきてくれて、人の輪が広がる。また、見知らぬ方も泊まりに来てくれて、それがきっかけで交流が始まる。そんな人とのふれあいが多くなったことに、いちばんの喜びを感じます。5年前、62歳でサラリーマンを退職し、兼業だった農業も専業になりました。これからゆったり暮らしていくのも心地よいと思いますが、自分たちの培った農業をベースに人に喜んでいただくことができるなら、それは素晴らしいことだと思っています。



木の温もりと落ち着きに包まれた邸内

宿泊者とのエピソードで心に残ったことがあれば教えてください



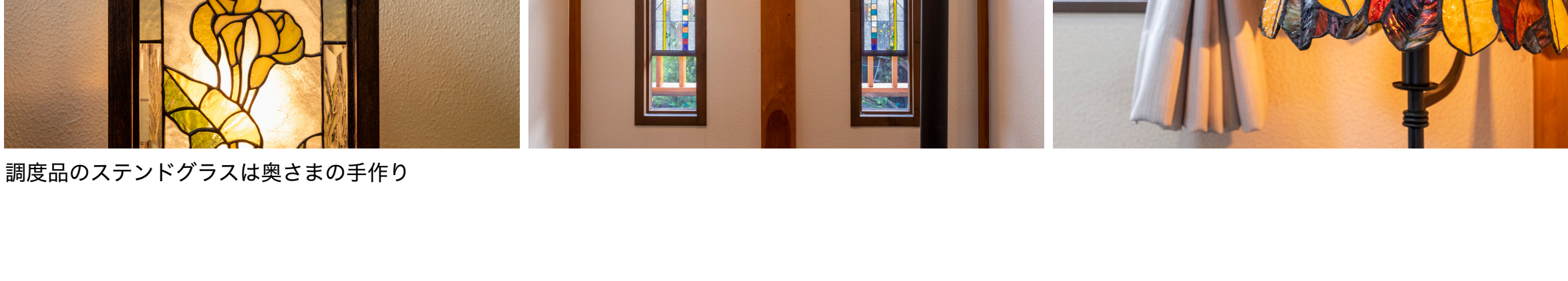
別荘を思わせる本格ログハウス

首都圏から来られたあるご家族が、自分たちが振る舞ったバーベキューや郷土料理などをホントに沢山食べてくれたことですね。特に子どもさんが、イノシシの焼肉や手作り味噌のお味噌汁、ご飯がおいしいと何度もお代わりをしてくれたのですが、あまりにもいっぱい召し上がるものですから「お腹をこわしたら大変だから、もうヤメテ」とストップをかけたほどです（笑）。

そんな楽しい時をお互いに過ごした後、帰り際にご家族に「第2の故郷にしてもいいですか」と言っていたいたんですよ。この時、民宿をはじめて良かったと心から思えました。有難かったですね。

農林漁家民宿の魅力は何ですか？

チェックインとチェックアウトの時でしかお客様とふれあうことが少ない都会や街のホテルと違って、農林漁家民宿は初めてお目にかかった方でも密度の濃いふれあいができることでしょうか。お客様もそれを望んでおられる方も多いと思います。自分のできることを、自分のペースで提供し、人や自然とのふれあいを楽しんだり、料理と一緒に作ったり、普段味わえない寛ぎを感じていただく。そして、自分もその時間を楽しめる。この民宿の大きな魅力はそういう心の豊かさをお客様とともに得られるところです。



調度品のステンドグラスは奥さまの手作り

今後の目標を教えてください

地元の若者は街から出て行くことが多いのですが、最近は自然の豊かさや災害の少なさに魅力を感じて他県からこちらに移住してくる方が増えているんです。私はそういう方たちをサポートしながら協力し合い、この街の素晴らしさをもっと発信できればいいなと考えています。実際、沖縄・宮古島から移住してシーカヤックやSUP（サップ）といったマリンスポーツの体験サービスをされている方がいるのですが、その方との提携も始めました。来年夏の開設を目指して海をのんびり楽しめる施設も近くの海岸に整備中です。

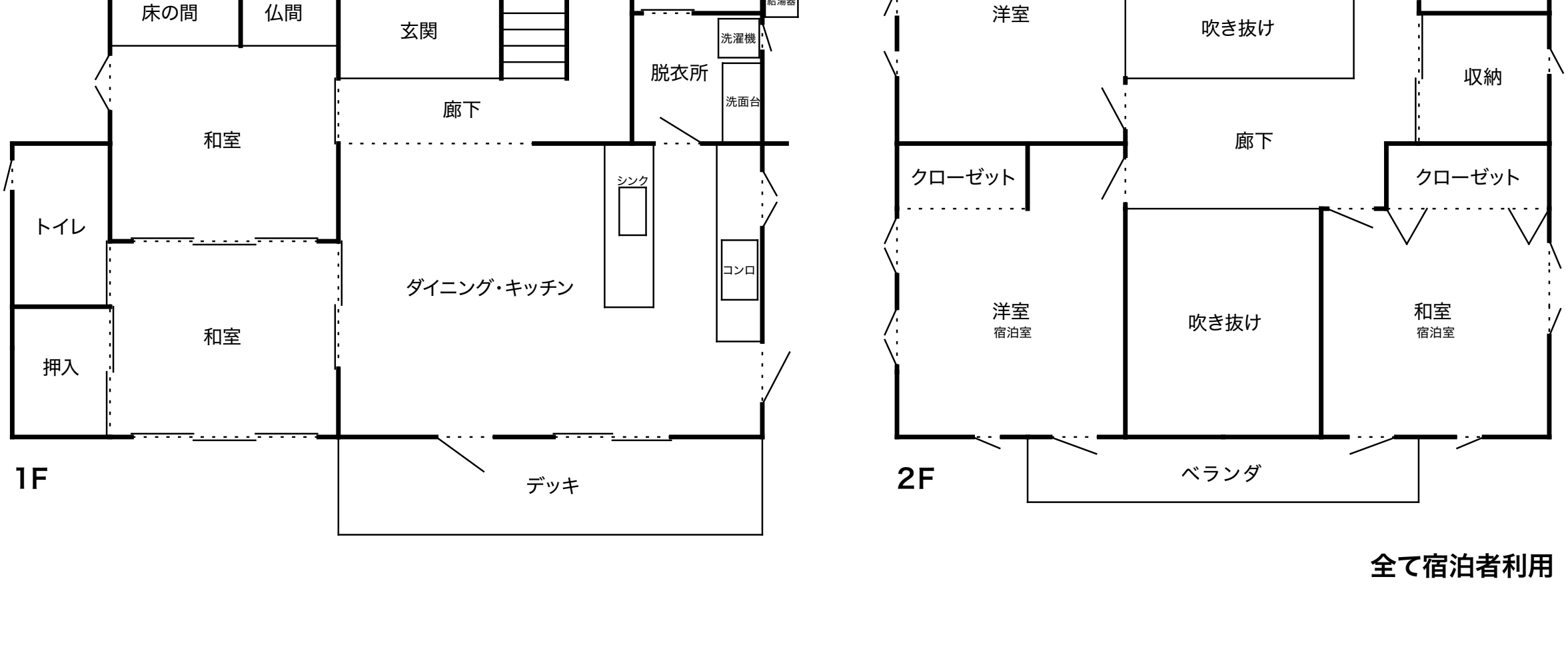
また、瀬戸内国際芸術祭の総合ディレクターを務める北川フラムさんの呼びかけもあって王越町は2025年の瀬戸芸に参加することになりました。ですから、うちもその力になりたいと企画を練っているところです。

とにかく自分たちもワクワクしながら営業することで、訪れた方にもそのワクワクが伝わる。そして、楽しい時間を過ごしていただける民宿にしたいですね。



心から寛げる民宿を目指している神内さんご夫妻

癒しの郷 神うち 間取り図



全て宿泊者利用

癒しの郷 神うち 基本情報

住所	香川県坂出市王越町木沢 499-1
電話番号	080-2982-7114
活用した建物	自宅
営業期間	通年不定休（要予約）
宿泊スタイル	ログハウス1棟貸し（家族・グループ 定員7名）
体験メニュー	季節の野菜・果物の収穫体験、ジビエ料理、釣り、手作りピザ窯で作るピザ体験、竹細工作り、SUP（サップ）等 ※体験はすべて予約時に要相談
食事	夕食、朝食付 共同調理及び自炊 その他、季節素材のバーベキュー、低温蒸しなどあります（食事代とは別途料金が必要）
宿泊料	1棟 25,000円 + 食事代 1人1泊 3,000円 3歳未満の子どもは無料
ホームページ	